

第22回

岐阜県工業高等学校野球大会（工業杯）

日時

令和 7年	11月	1日（土）	一回戦・二回戦
	11月	2日（日）	二回戦
	11月	3日（月）	予備日
	11月	8日（土）	準決勝
	11月	9日（日）	3位決定戦・決勝
	11月	15日（土）	予備日

会場

大野町レインボースタジアム
当該校

参加校

- 7 岐阜県立岐阜総合学園高等学校
- 8 岐阜県立岐阜工業高等学校
- 12 国立岐阜工業高等専門学校
- 16 岐阜県立岐南工業高等学校
- 28 岐阜県立大垣工業高等学校
- 38 関市立関商工高等学校
- 43 岐阜県立可児工業高等学校
- 46 岐阜県立高山工業高等学校
- 54 岐阜県立飛騨神岡高等学校
- 58 岐阜県立多治見工業高等学校
- 67 岐阜県立中津川工業高等学校

第22回岐阜県工業高等学校野球大会（工業杯）役員

会 長	堀 秀樹	岐阜県立岐阜工業高等学校長
副 会 長	加藤 昌宏	岐阜県立可児工業高等学校長（担当校長）
	片岡 潤子	岐阜総合学園高等学校校長
	大塚 友彦	国立岐阜工業高等専門学校長
	佐藤 尚史	岐阜県立岐南工業高等学校長
	桐山 明宏	岐阜県立大垣工業高等学校長
	近本 彰	関市立関商工高等学校長
	岩島 義則	岐阜県立高山工業高等学校長
	各務 友浩	岐阜県立飛騨神岡高等学校長
	曾貝 隆之	岐阜県立多治見工業高等学校長
	田並 正	岐阜県立中津川工業高等学校長

大会委員長	渡邊 征司	(可児工)
大会副委員長	熊崎 翔太	(岐阜工)
大会会計	福島 崇晃	(可児工)
大会委員	大江 哲郎	(岐阜総合)
	麻草 淳	(岐阜高専)
	真船 拡	(岐南工)
	山口 将史	(大垣工)
	松井 純平	(関商工)
	反中 哲也	(高山工)
	森田 昇吾	(飛騨神岡)
	梨ヶ瀬 肇	(多治見工)
	川添 栄二	(中津川工)

第22回岐阜県工業高等学校野球大会（工業杯）実施要項

主催 岐阜県高等学校野球連盟
岐阜県高等学校教育研究会工業部会

期間 令和7年11月1日（土）～11月9日（日）（11月3・15日予備日）

球場 大野町レインボースタジアム、当該校

試合方法

- ① 岐阜県下の工業高校及び工業系高校11校をトーナメント戦で行う。
- ② 延長戦は10回より無死1・2塁でタイブレークを行う。

申し合わせ事項

- ① 試合時間 *注意：以下は原則

《一日3試合の場合》	《一日2試合の場合》	《一日1試合の場合》
第1試合 8：30～	第1試合 10：00～	第1試合 10：00～
第2試合 11：00～	第2試合 12：30～	
第3試合 13：30～		

*当大会は、諸事情により別紙（トーナメント表）に記載された開始時間をもとに行う。

*ただし、対戦校の会場までの距離により変更する場合がある。その場合は対戦校同士で決定する。

- ② ゲーム開始1時間30分前には球場へ到着する。
- ③ 試合前のノックは、7分とする。但し、天候不良の場合や、前の試合が延びた場合は対戦高校同士で決める。
- ④ 雨天、日没の場合は、継続試合とする。
- ⑤ 全試合コールドゲームを適用する。（5回以降10点差、7回以降7点差）
- ⑥ 1・2回戦・準決勝は、両校から審判2名を出し、4人制で試合を行う。（各試合の球審は派遣予定）
- ⑦ 試合球は、出場校で負担する（使用球は両チームで相談）。（ロジンバックは大会当番校で準備）
- ⑧ ベンチ人員は、選手25名、監督、部長、副部長、記録員各1名とする。
- ⑨ 選手25名は背番号をつける。
- ⑩ やむをえず変則ダブルヘッダーを行う場合、投手が登板できるイニング数は両試合を通じて、合計15イニングス以内とする。また、2試合も登板が予定される投手は第1試合終了後のアイシングはしないこと。
- ⑪ メンバー表は、試合ごとに提出する。メンバー登録は、毎試合変更を可能とする。
- ⑫ 対戦カードの左側の学校が1塁側ベンチとし、その試合の当番校とする。
※（3、5、7回終了時や試合終了時に審判に対し給水機会をもうける。）

※ 雨天などで試合ができない場合は、両校の責任者で協議のうえ決定し、試合開始1時間30分前までに試合担当審判と渡邊征司まで連絡する。

- ⑬ 試合中のボールパーソン、BSO、放送などは当該校同士で相談して行う。
- ⑭ 第1試合が流れた場合、運営の都合上その後のゲームも中止とするため、第1試合の両校で協力して、第2試合の各校への連絡をする。
- ⑮ 試合準備は第1試合の両校で行う。但し、遠方の学校がある場合は両校の話し合いで決定する。試合終了時のグラウンド整備は両校で行う。
- ⑯ 遠方の学校の第1試合はなるべく避ける。やむを得ぬ場合には可能な限りの配慮をする。
- ⑰ その会場の最後の勝利校は、その会場で行われたすべての試合結果を、連絡（FAX）する。
（別紙報告書を使用）
- ⑱ 決勝戦終了後閉会式を行う。なお、表彰チームは優勝，準優勝とする。
- ⑲ **DH制（指名打者制）を採用する。**

○工業杯当番校について

	年度	主当番校	副当番校
第20回	令和5年度	中津川工業	岐阜総合
第21回	令和6年度	多治見工業	大垣工業
第22回	令和7年度	可児工業	岐阜工業
第23回	令和8年度	関商工	岐南工業
第24回	令和9年度	岐阜総合	中津川工業
第25回	令和10年度	大垣工業	多治見工業